

優楽の子カラ



雨上りのある日

ふと見上げると優楽にかかる虹がをみつけました。
『何か良いことが起こる！！前触れ』と思わせるような虹でした。

この虹のように優楽が、利用者さまと家族さまのかけ橋になっていくように
願いを込めて撮った写真です。



入所棟夏祭り(令和4年8月26日)

まだまだ暑い日々が続いていた
8月26日に優楽入所棟で夏祭りを
開催致しました。

実行委員会のメンバーを中心に
数か月前から様々な準備を行い、
無事夏祭りを行う事ができました。

今年は利用者さまからのリクエストが多かった「かき氷」を提供させて頂きました。専用の機械をレンタルし、作ったかき氷は、

屋台の味そのもので、皆様に大変喜んでいただけました。他にも綿菓子やいつもと違う昼食、

輪投げやピンボール、ネイル、福引き、花笠音頭など様々な

ゲームや催し物、食べ物を準備し夏を感じていただきました。

コロナ禍が続く状況ですが、これからも利用者さまに

四季を感じていただき、楽しんでいただけるようなイベントを企画・実施できるように職員一同努めてまいります。



デイケア敬老週間(令和4年9月13日~9月19日)

9月13日から9月19日までの期間、
デイケアでは毎年恒例の敬老週間を
実施しました。

今年は、職員による「紙芝居」や「クイズショー」を行い、皆さんと楽しい時間を過ごしました。

今回のメインイベントとして
今大流行中の「キツネダンス」を
野球のユニフォームを着て職員と
皆さん一緒に踊りました。

知っている方も多く、
一緒に踊って楽しい時間を
共有できました。

「この間テレビで見たよ」
「楽しかった、良かったよ」
「元気出たわ」との声を聞き、
大成功に終わったことに
感謝しています。

さて、これから様々な
イベントが続くデイケア。
皆さん、期待して待っていてくださいね。



リハビリ室

メンバーが増え、若返った

リハビリテーション室

児島俊輔

リハビリテーション室では、6月から理学療法士と作業療法士それぞれ1名ずつ計2名の仲間が入職しました。この2人は地域リハビリテーションに熱意があり、優楽でのリハビリテーション発展に大いに貢献してくれると期待しています。

新しい風が吹き込み、少し若返り、元気になりました。既存のメンバーを含め、リハビリテーション室一同、頑張っただけで、優楽のリハビリテーションを支えていきたいと思えます。よろしくお願ひします。



職員のつぶやき

作業療法士 園田 理英子

令和4年6月より作業療法士として入職しました。

病院勤務を経て優楽に入職させていただき、まだまだ不慣れな事も多いですが、色々と助けていただきながら日々働いています。

休日は、息子の少年野球の試合の応援に行ったり、娘の吹奏楽のコンサートに行ったり、習い事の送迎をしたりと

慌ただしく過ぎてしまう事も多いですが、家事の合間に見逃したドラマを見る事が私のちょっとした息抜きです。



優楽では、人生の先輩である利用者さまを尊敬しながら、その人らしい生活を送っていただけるように関わらせていただきたいと思います。これからもよろしくお願ひ致します。

理学療法士 古家 日菜

令和4年6月より入職いたしました、理学療法士の古家日菜と申します。

私は、家でフクロモモンガを飼っています。フクロモモンガは、夜行性であり夜中に犬みたいな鳴き声で、「キャンキャン」と鳴きます。この鳴き声は、寂しくて構ってほしいときに鳴くといわれています。

また、個体によりですが、とても臆病で些細な物音にもびっくりしてしまうので、水を飲んでいるときや、餌を食べているときにゲージの前を通るときは、静かに通るように心掛けないといけないくらいビビリ屋さんです。そんなフクロモモンガですが、目がとても丸々としていて見ているだけで癒される動物です。



私は、利用者さまに笑顔でリハビリしていただけるように、一人一人に合ったリハビリを行えるように心掛けていきます。よろしくお願ひいたします。



吸引器・クッション・口腔ケア用品



手提げバック

この度は、優楽に過分なご寄贈を賜りまして、誠にありがとうございました。誠にありがとうございます。ご家族さまの温かいご支援にあらためて心より厚く御礼申し上げます。

利用者さまが、日々笑顔で過ごすことができるように、使用させていただきます。

◆施設サービスの内容
●入所
日常生活動作をしやすくするために、その方の状況に応じたケアプランに沿って、専門スタッフによるレクリエーション、食事、入浴、排泄など日常生活サービスとリハビリテーションなどの医療ケアサービスをご利用いただき、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

◆利用できる対象者
介護保険の要介護認定において要支援以上の要介護状態と認定された方で、病状が安定して介護が必要な方と、40歳以上64歳までの特定疾患（例えば脳血管疾患、糖尿病性神経障害などの疾患が定められています）によって介護が必要な方や、リハビリが可能な方。

疾病、傷害などにより介護が必要になったときでも、住み慣れた家庭・地域で自立した生活を営むことができるよう支援させていただく施設です。医学的管理の下、ケアプランにもとづいてリハビリテーション、看護、介護などを行い、家庭介護の支援や家庭復帰を目指します。

介護老人保健施設とは

●短期入所
ご家族の介護疲れや病気・用事などにより、ご家庭での介護が一時的にできなくなったとき入所と同じサービスをご利用いただけます。また、体力や生活機能向上のためのリハビリテーションやレクリエーション活動への参加の促進により、ご家族の介護負担の軽減が図れるよう支援します。

●通所リハビリテーション（長時間）
理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が評価を行い、心身機能維持向上目的のリハビリテーションプログラムを作成し、必要に応じて個別リハビリテーションも行っています。食事・排泄・入浴・レクリエーションも提供します。

●パワーリハビリテーション（短時間）
負担の軽いマシン運動で、心身の活性化を図ります。また、専門職の生活指導と合わせトータル的な介護予防を目指します。

●ご相談、ご利用申し込みは当施設担当者までご連絡ください。

●編集後記●金木犀の甘い香りが漂いはじめ秋らしい陽気となり、朝夕は涼しさを感じるころとなりました。10月より相談支援課に新しく介護支援専門員が入职しました。これからも利用者さまに寄り添い、家族さまの相談役として、関係機関の皆さまに助けをいただきながら相談支援課一同、頑張っています。

生駒市介護老人保健施設 やすらぎの杜 優楽

TEL/0743-76-3300

<http://www.ikoma-yuraku.com/>

ご利用相談受付担当：藤尾 山崎 中溝 竹田（入所・ショート） 田中 榮田（通所）

